

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【公表番号】特表2010-500331(P2010-500331A)

【公表日】平成22年1月7日(2010.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2010-001

【出願番号】特願2009-523312(P2009-523312)

【国際特許分類】

C 07 K 7/62 (2006.01)

C 07 K 1/107 (2006.01)

C 12 P 21/02 (2006.01)

A 61 K 38/00 (2006.01)

A 61 P 31/04 (2006.01)

【F I】

C 07 K 7/62 Z N A

C 07 K 1/107

C 12 P 21/02 Z

A 61 K 37/02

A 61 P 31/04

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月25日(2010.6.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

オクタペプチン類は、ポリミキシン類と密接に関連しているものであるが、残基R1-R2の代わりに共有結合を有する(表1)。本発明においては、R位置を天然ポリミキシン類におけるものに従って番号付けし、したがってオクタペプチン類の側鎖におけるアミノアシル残基のみがR3として定義される。したがって、オクタペプチンはオクタペプチドであり、すべての天然ポリミキシン類はデカペプチドであり、4個の正電荷しか持たない。様々なオクタペプチン類(A1, A2, A3, B1, B2, B3, C1)中のR-F-A残基は、以下の3-OH-8-メチルデカン酸、3-OH-8-メチルノナン酸および-OH-6-メチルオクタン酸を含む。6~18個の炭素原子の脂肪酸アシル残基を有する誘導体は、大腸菌に対して強力な抗菌活性を有する(Storm その他 1997)。